令和８年度第１回名寄市総合教育会議議事録

（要　旨）

開 催 日　　令和８年８月27日（木）14：00～16：25

開催場所　　名寄市役所名寄庁舎　４階大会議室

出席者

市　　長	加　藤　剛　士
教 育 長	岸　　小夜子
教育長職務代理者	髙　橋　雅　樹
教育委員	松　田　潤　子
教育委員	中　枝　範　子
教育委員	北　野　裕　介
名寄小学校教頭	櫻　田　和歌子
名寄南小学校長	井　上　隆　一
名寄東小学校長	鴻　上　　貴
名寄西小学校長	成　田　浩　幸
中名寄小学校長	稲　本　雄　一
風連中央小学校長	栗　原　主　税
名寄中学校長	桑　内　寿　則
名寄東中学校長	松　浦　修　司
風連中学校長	石　本　義　行
智恵文小中学校長	草　薙　進　一

事務局職員

総合政策課長	佐　藤　　篤
教育部長	伊　藤　慈　生
教育総務課長	土　井　　渉
学校教育課長	若　林　　智
主幹（指導主事）	久保田　竜　平
社会教育課長	堺　　卓　也
智恵文公民館長	吉　田　清　人
児童センター館長	小笠原　　弘
教育相談センター所長	山　下　昌　之
図書館長	安　田　　穣
北国博物館長	金　田　卓　浩
天文台長	村　上　恭　彦
給食センター所長	滋　野　亜由美

傍 聴 者　　０名

議　　事　　地域に根差した持続可能な学校づくりについて

会議録（要旨）

１　開　　会　　午後２時００分

２　市長挨拶

３　議　　事

※設置要綱第４条の規定により市長が議長を務める。

（１）地域に根差した持続可能な学校づくりについて

〔議　長〕

それでは議事に入ります。まずは今年度の学校教育の取組について、教育長からお話をいただければと思います。

〔教育長〕

今年度は、教育的愛情と ICT を調和させる「愛Ｉ教育」と、地域資源を生かす「ＮＡＹＯＲＯらしい教育」の推進に注力します。子どもの成長を保護者や地域に見える化し、子どもと教職員が共に笑顔になれる学校づくりをお願いします。各校の実態に応じて主体的に学校経営に取り組んでいただきたいと考えております。

〔議　長〕

ありがとうございました。それでは各学校からの発表をお願いいたします。

〔各小学校〕

資料に基づき説明。

〔議　長〕

小学校の発表を受けまして、教育委員の皆様からご質問をお願いいたします。

〔教育委員〕

各校の重点的な取組は理解しました。一方で、目標が盛り込まれすぎている印象や、家庭学習の習慣化が各校共通の課題であると感じました。

〔教育委員〕

名寄小学校から地域コーディネーターのお話がありましたが、他の小学校において、地域と繋がりたいけれどもすぐに繋がらないような環境や課題があるのでしょうか。

〔議　長〕

地域コーディネーターについて各校の状況や課題感を教えてください。

〔名寄小学校教頭〕
　学校独自で人材を見つけるのは難しいため、行政に人材発掘や紹介をお願いしたいという趣旨です。

〔名寄南小学校長〕
　学校運営協議会の皆様に非常にご協力いただいており、現状問題は感じておりません。

〔名寄東小学校長〕
　コミュニティカレッジの事務局長に担っていただき、手厚く支援いただいており不満はありません。

〔名寄西小学校長〕
　協議会委員に一生懸命繋いでいただいていますが、お仕事をされているため時間的制約があるという難しさは感じています。

〔中名寄小学校長〕
　専任はおりませんが、PTA や地域の方々に幅広くご協力いただき、活動が定着しています。

〔風連中央小学校長〕
　中学校も含め地域の取組が継続・定着しており、自然な形で進められています。

〔名寄中学校長〕
　学校運営協議会を中心に繋がりを持っており、現時点で特に課題は感じておりません。

〔名寄東中学校長〕
　協議会の皆様が前向きに協力してくださる雰囲気があり、課題は少ないと感じています。

〔風連中学校長〕
　小中一体でコーディネーターに動いていただくとともに、校内の「地域コーディネート担当教員」が連携を進めています。

〔智恵文小中学校長〕
　支所長にコーディネートをお願いしており、スムーズに調整していただいております。

〔教育委員〕
　市の総合計画でも求められている「余白の創出」について、各校でどのように活用していくビジョンをお持ちかお聞かせください。

〔名寄小学校 教頭〕
　余白の創出自体が目的ではなく、子どもを育てるためにどんな学校を創るかという本質的な議論

を深めています。

〔名寄南小学校 校長〕
　子ども自身が主体的に学んでいく形になれば、自ずと余白の活用についても子どもたちが考えていけるようになると捉えています。

〔名寄東小学校 校長〕
　創出した余白を児童の課題解決や教員研修など、何に使うべきか校内で議論している段階です。

〔名寄西小学校 校長〕
　まずは「目指す姿」を明確にし、そこから教育課程の編成について議論を進めるようにしています。

〔中名寄小学校 校長〕
　特色ある教育活動の時間を安易に削減しないよう留意し、今後の時間配分は協議しながら柔軟に決める予定です。

〔風連中央小学校 校長〕
　一律に時間を削るのではなく、現在の指導内容と子どもの理解度を踏まえ、実態に合わせた時数配分を検討します。

〔教育長〕
　補足しますと、余白を作ることが目的ではなく、子どもの実態に合わせて必要な部分に時間を重点的に配分していただくための裁量という趣旨です。

〔教育委員〕
　学校と家庭の関わりにおいて現在努められていることについて、後ほどお聞きできればと思います。

〔議　長〕
　この点は中学校にも共通する課題ですので、中学校の発表後に伺います。続いて中学校、義務教育学校の発表をお願いします。

〔各中学校、義務教育学校〕
　資料に基づき説明。

〔議　長〕
　最後に、教育委員からご質問のあった「家庭との連携」について、各校の取組や現状をお聞かせください。

〔智恵文小中学校長〕
　保護者との関係性は良好です。本校独自に「子ども支援コーディネーター」を配置し、連携を図る体制を整えています。

〔風連中学校長〕
　まずは授業を楽しくすることが重要と考えていますが、「家庭学習強化週間」を設けて家庭に発信しながら取り組んでいます。

〔名寄東中学校長〕
　ポータルサイトを活用した情報共有を行い、教職員全体で丁寧な対応を心掛けています。

〔名寄中学校長〕
　１学期に二者面談を実施し、年度当初に子どもの課題等を共有して同じ歩調で関われるよう工夫しています。

〔風連中央小学校長〕
　家庭学習の手引き作成や、アプリを活用した出欠連絡、保護者面談など、基本的な連携を大切にしています。

〔中名寄小学校長〕
　保護者の意欲が非常に高い環境です。家庭学習は表彰制度を設けていますが、高学年で減少傾向があるため新たなテコ入れを検討中です。

〔名寄西小学校長〕
　定期的な面談に加え、日常的に「良いことがあった時」にも積極的に家庭へ電話連絡するよう職員に指導しています。

〔名寄東小学校長〕
　家庭学習は内容を児童の自己決定に委ねていますが継続性に課題を感じており、新たな企画を検討中です。

〔名寄南小学校長〕
　若手教員がベテランを手本に保護者対応のスキル向上を図り、学校ブログ等で「成果の発信」を工夫しています。

〔名寄小学校教頭〕
　何かあった際は良いことでもすぐに連絡を取り、時には直接家庭訪問して顔を合わせて対話することで安心に繋げています。

〔教育委員〕

学校の努力を倍増させる鍵は家庭との連携だと考えております。素晴らしい取組をお聞きでき安心いたしました。

〔教育長〕

各校の多様な取組がある一方で、名寄市として共通して大切にすべき方向性を共有することも必要だと感じております。本日の内容を今後の方向性策定に生かしてまいります。

〔議　長〕

「自己肯定感の向上」や「地域との連携」、そしてその基盤となる「家庭との連携」が共通の重要キーワードであると認識しました。今後も現場に足を運び、教育行政に生かしていきたいと考えております。本日はありがとうございました。

４　閉　　会　　午後４時２５分